

貴重な講演^{はいちよう}を拝聴

10/20 大分県市議会議長会議員研修会

大分県市議会議長会議主催の議員研修会が、大分市の東洋ホテルで開催され、県内14市議会より多くの議員が出席し、本市議会からも議員22名が出席しました。

早稲田大学院教授の北川正恭氏^{きたがわまさやす}より「地域主権三法の成立で地方議員に求められるもの」と題し、講演が行われました。

その中で、「そういうものだ」として既存の体制に準ずるのではなく、あらゆる面から改革をすることが大事であるとのお話がありました。

講演会終了後は、各市議会議員相互による意見交換会が行われ、市政や地域振興などについて活発な意見が交わされました。

平成23年度 大分県市議会議長会議員研修会



学校訪問を実施

10/24 厚生文教常任委員会

10月24日に所管事務調査を行いました。

^{とおりやま}通山幼稚園、千歳小学校、犬飼中学校、清川中学校の4カ所を訪問し、子どもたちの授業を参観したり、園長や校長と意見交換などを行いました。



清川中学校

事業進捗^{しん ちよく}状況を調査

11/9、11 各常任委員会による所管事務調査

本年度の事業進捗状況に関する所管事務調査を総務・厚生文教・産業建設の3常任委員会ごとに行いました。

この調査は、事業の進捗状況を委員が確認することにより、今後の事業の推進や来年度予算の編成などに委員会の意向を反映させることを目的に、今年度初めて行った取り組みであります。

執行部より、それぞれ選定した2事業についての説明があり、さまざまな質疑や意見などが活発に出されました。

また当日、産業建設常任委員会^{にし}が、西^{にし}原浄水場（三重町）を視察しました。





議会基本条例と議会改革

— 行財政改革特別委員会 —

豊

後大野市議会行
財政改革特別委

員会は、昨年10月3日、議員に対し、調査してきた議会基本条例の内容について、報告会を開催しました。

委員会の調査では、議会活動をより活性化し、市議会をより充実したものにしていいため、議会基本条例を制定し、さらなる議会改革の継続性と実効性を持たせることが必要不可欠であると判断しています。



執行部席に座る行革委員

この日、「豊後大野市議会にふさわしい議会基本条例報告会」と題して、議会の情報公開の促進、執行部との議論の充実、議会報告会の開催、政策立案能力の向上など、条例に必要な項目について説明があった後、自由討議の形式で3時間にわたり、活発な議論が繰り広げられました。



報告する宮成行革委員長（手前）

● 大分市議会の 市民意見交換会を視察

また、10月21日と25日は、議会改革を先進的に行っている大分市議会の市民意見交換会を視察しました。

大分市議会議員から、議会の仕組み、議会改革の取り組み、昨年の市民意見交換会における意見などのその後の経過について説明があった後、議



員定数について意見交換が行われました。

大分市議会では、「常任委員会の数に委員数を乗じた数」を根拠の一つとして議員定数を考えていくことを掲げています。

大分市民から大分市議会議員へは、「現行46人は40人以下でいいのでは。」「少数で存在感豊かな議員に報酬をたっぷり取っていたきたい。」といった意見がある一方、「大分市職員3000人がする仕事のチェックを議員46人以下でできるのか、他の市の削減状況とは区別して考えるべき。」との意見がありました。

本市行財政改革特別委員会では、調査の最終報告に向け、まとめの作業に入るところです。